

## はしがき

著者	秋山 学
雑誌名	古典古代学
巻	10
ページ	i - i
発行年	2018-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2241/00150461">http://hdl.handle.net/2241/00150461</a>

## はしがき

今年度、本誌『古典古代学』は記念すべき第 10 号を迎えることになった。この記念号を公刊できることは、編者にとって大きな喜びである。

第 1 論文の執筆者である石田隆太氏は、本誌第 8 号、第 9 号から続けて 3 度目の寄稿となる。

氏は今年度末、学位論文『トマス・アクィナスの個体化理論 —その統一的理解のために—』を筑波大学大学院人文社会科学研究科哲学・思想専攻に提出され、めでたく博士（文学）の学位を取得された。氏は現在、日本学術振興会特別研究員として慶應義塾大学に籍を置き、研鑽を続けておられる。氏の一層の活躍を祈念する次第である。

第 2 論文の執筆者である菊地英里香氏は、本誌創刊以来、一度も欠かすことなく本誌に寄稿を続けている。ジャン・ボダンを中心とする氏の業績には、近年とみに注目が集まるようになり、その結果本誌にも、外部からの問い合わせが寄せられるようになっている。これはまことに慶賀すべきことである。

引き続き、読者各位の心ある支援をお願いする次第である。

2018 年 3 月 25 日

筑波大学人文社会系 教授

秋山 学